

多様な働き方と女性労働者の健康に関する研究のお知らせ

帝京大学大学院公衆衛生学研究科では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2017年12月14日～2020年3月31日

〔研究課題〕 多様な働き方と女性労働者の健康に関する研究

〔研究目的〕

女性の就業状況や育児と介護の有無などに注目し、異なる雇用形態と家庭状況別に女性の健康状況を比較することを目的としています。

〔研究意義〕

現在、日本では雇用形態多様化が進んでおり、女性では約6割が派遣労働やパートタイム労働などに就いています。そしてその労働者の家庭状況も多様で、育児や介護を行いながら働く労働者がいます。こうした多様な働き方に即した労働者の健康問題については国全体での統計情報を用いた研究が少なく、かつ世帯や育児・介護といった労働者が家庭で抱える課題について着目している研究はみられません。現在、働き方が変わり行く中で、多様な働き方をする女性の労働者の健康も守るために、こうした幅広い働き方と家庭状況を含めて健康に関する分析を行う必要があります。この研究の成果は、今後、女性が健康に働き続ける制度づくりなどに貢献する可能性があります。

〔対象・研究方法〕

厚生労働省が実施した、国民生活基礎調査、21世紀成年者縦断調査、中高年者縦断調査の3つの統計調査の個人のデータを用いて分析します。対象となるのはこれらの調査に回答した、20代～60代の女性です。比較のために、同様に男性についても分析します。

〔研究機関名〕

主な研究機関：帝京大学大学院公衆衛生学研究科、協力研究機関：電気通信大学保健センター、九州大学持続可能な社会のための決断科学センター

〔個人情報の取り扱い〕

研究成果については、すでに厚生労働省で匿名化されたデータとはいえ、データの内容などから個人が特定されないよう、集計結果のみをとりまとめて報告します。

研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：井上まり子(帝京大学大学院公衆衛生学研究科 准教授)

住所：〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1 帝京大学大学院公衆衛生学研究科

TEL：03-3964-1211(代表) [内線 46210]